

タイトル	SDG s 項目	概要	①講習	②体験項目	体験項目詳細	対象時期	所要時間	定員
林業体験	7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに	・切り出した原木からボイラーに投入するための薪割をいくつかの道具を使い実践してみる。最後に薪ボイラーに投入する	・二酸化炭素排出と地球温暖化の関係 ・日本の林業に対する考察 ・薪ボイラーへ変換した理由	・薪割り体験 ・薪ボイラー	・道具を使って薪づくり ・ボイラーへの薪投入	3月～12月	30分～60分	5名/1班 ×3班
	13.気候変動に具体的な対策を						10分	5名/1班 ×3班
養蜂体験	15.陸の豊かさを守ろう	・蜂の生態を観察する	・蜜蜂の種類と生態	・蜂の巣箱の様子を真近で観察。最後にスプーン1杯の蜂蜜を食し、ありがたさを感じていただく	・防護ネットを着て巣箱の中を観察。 ・実際に収穫した蜂蜜を体験する。	5月～11月	30分	5名/1班 ×3班
稲作体験	11.住み続けられる街づくりを	・専門職として新たに人員を採用。地域の活性化を図る ・生物多様性に対応した無農薬自然栽培を経験してもらう ・耕作放棄地現状との有効活用の実例を見学いただく	・耕作放棄地が増え続ける現状とその活用の必要性 ・無農薬自然栽培にこだわる理由 ・生物多様性がもたらす意義	・時期に応じた作業 (田植え、雑草取り作業、収穫)	・田植え(手植え) ・田んぼに入って雑草取り作業 ・稲刈り(手刈り) ・脱穀(足踏み、コンバイン)	5月～10月	60分	10名/1班 ×4班
	12.つくる責任つかう責任						30分	10名/1班 ×4班
	15.陸の豊かさを守ろう						60分	10名/1班 ×4班
畑作体験	11.住み続けられる街づくりを	・専門職として新たに人員を採用。地域の活性化を図る ・生物多様性に対応した無農薬自然栽培を経験してもらう ・耕作放棄地現状との有効活用の実例を見学いただく	・耕作放棄地が増え続ける現状とその活用の必要性 ・無農薬自然栽培にこだわる理由 ・生物多様性がもたらす意義	・時期に応じた作業 (畑での畝づくり、小型耕運機での作業、雑草取り、収穫)	・土、畝づくり(小型耕運機) ・草取り作業 ・収穫体験 ・腐葉土づくり体験	5月～11月	60分	5名/1班 ×3班
	12.つくる責任つかう責任						30分	
	15.陸の豊かさを守ろう						30分	
							30分	
ジェンダーの意味	5.ジェンダー平等を実現しよう	・性別による差別とは	・外部講師を招いての講習会	-	-	3月～12月	60分～120分	80名